令和元年7月

杉並区立富士見丘中学校 学校運営協議会だより

第13号

地域と共につくる学校 **地域運営学校（Community School）**です

コミュニティ・スクールとは　～学校運営協議会制度を導入している学校です～

平成２３年４月から導入

学校運営協議会の役割

（1）校長が作成する学校運営に関する基本的な方針の承認を行う。
（2）学校運営に関し、教育委員会又は校長に意見を述べる。
（3）学校の教職員の任用に関し、任命権者に意見を述べる。

令和元年度 学校運営協議会委員紹介

学校運営協議会会長
長（ちょう） 俊介（しゅんすけ）

日本スクールソーシャルワーク協会理事
修復的対話フォーラム副理事長

学校の主人公は？

今から20年程前、スクールソーシャルワークの研修でアメリカのサンフランシスコに行きました。その時代アメリカの学校の中には、子ども達のために様々な制度が作られていました。スクールソーシャルワーカーをはじめとして、スクールカウンセラー、スクールサイコロジスト、スクールポリスなど、様々な役割の人が子ども達を支援するため活動していました。その訪問先の一つにオルタナティブスクール（画一的な教育ではなく、子ども個人を尊重したカリキュラムを組む学校）があり、あるオルタナティブスクールの玄関の頭上に「We can not do anything without you.」という掲示が掲げてありました。ちょうど、学校に馴染めない子ども達を支援する活動をしていたこともあり、とても感動したのを覚えています。支援する大人は増えたとしても、誰のための学校か？「子ども達が置き去りにならないような学校改革」を進めていかなければと思っています。

新メンバーの紹介

小作（こさく） 力雄（りきお）

ライオンズクラブ国際協会
東京渋谷ライオンズクラブ
薬物乱用防止教育講師
杉並区陸上競技協会副会長

富士見丘中学校は、私・息子・孫と大変お世話になり、強い愛着があります。同窓会会長として10年勤め、現在陸上競技部の指導をしております。スポーツを通し、礼儀・精神力を身につける様、心掛けています。また、学校・地域・保護者と共に取り組んでいきたいと思います。

岩田（いわた） 美穂（みほ）

現 PTA 会長

今年度より学校運営協議会委員（CS）に保護者代表として着任することになり学校教育方針のもと、地域・保護者・学校と連携により、子どもたちの良き教育環境が保たれるよう参加していきたいと思います。

岡田（おかだ） 美津江（みつえ）

平成 26,27 年度 PTA 会長
青少年委員
学校支援本部 JOINT

この地域に引っ越してきて、10年が経ちます。緑が多く、静かな環境で子育てをするには恵まれていたと思います。子ども達がお世話になった中学校で、少しでもお役に立てたらと思い、運営協議会委員をお引き受けしました。中学生は、心身ともに大きく成長する時期です。その子ども達を地域の一員として見守り・サポートし、また子ども達や保護者の方に寄り添いながら活動出来たらと考えています。よろしくお願いいたします。

三浦（みうら） 秀樹（ひでき）

副校長　（事務局）

副校長の三浦秀樹です。大学を卒業後デザイン会社で営業マンとして5年勤務し、教員採用試験合格を目指し退社、ガードマン、トラックの運転手を経て31才で中学校美術教師になりました。生徒とともに感動し、喜びも悲しみも分かち合える教員の仕事について22年目、保護者、地域の皆様とスクラムを組み、夢をあきらめず、常に全力で取り組み、たくましく生きる力を生徒達に育んでいきたいと考えます。今後ともよろしくお願いいたします。

引き続きメンバーとして活動します

しぶや　まさひろ
渋谷　正宏
学校長

えんどう　まさはる
遠藤　雅晴
社会福祉法人浴風会
地域サービス部長

みやはら　ひろみ
宮原　弘美
平成 11 年度 PTA 会長
学校支援本部 JOINT 本部長
臨床心理カウンセラー

いずかし　あつこ
厳樫　敦子
平成 22、23 年度 PTA 会長
青少年委員
学校支援本部 JOINT

やぶき　まさのり
矢吹　正徳
日本教育新聞社報道部長

きむら　れいこ
木村　玲子
平成 24、25 年度 PTA 会長
主任児童委員
富士見丘小学校学校運営協議会委員
富士見丘小学校支援本部
学校支援本部 JOINT

ひらた　けいこ
平田　敬子
富士見丘小学校学校運営協議会委員
富士見丘小学校支援本部事務局長
民生児童委員

こしぬま　はるえ
越沼　晴枝
前高井戸小学校
学校支援本部本部長

一年間の活動

- 運営協議会会議（月１～２回）
- 運営協議会の年間活動計画の協議
- 「学校生活に対する意識調査」実施
- 教員任用・次年度管理職人事についての意見書の提出
- 翌年度の教育課程の承認
- 「学校生活に対する意識調査」の結果評価・報告

- 委員研修会参加
- 新任教員との面談
- 各分掌、各学年主任との面談
- PTA 役員との面談
- 生徒会役員生徒との面談
- 管理職との面談

16年間の『学校生活に対する意識調査』アンケートの結果から

学校運営協議会委員　矢吹　正徳

富士見丘中学校では2002年から、皆様のご協力の下、生徒・保護者・教員調査に取り組んでいます。当初は、学校評議員会、その後は、学校運営協議会が主体となって調査し、学校運営の在り方を検討する参考材料としてきました。調査を継続する中で、いくつか気付いたことなどを報告します。

生徒に関しては、1年生から3年生までを毎年、対象にしますので、学年の進行と共に、改善が必要になることや、少し心配な事柄があることなどが変化していきます。学級、学年は"生き物"と言われますが、調査結果からも、それが実感できます。

2015年2月まとめから見ると、『毎日、学校に来るのが楽しい』という問いに対して、

「楽しい」と感じる生徒は、学年別に見ても1年生の87・1%は高率。2年生は1年時の71・3%から78・5%へと増え、3年生は2年時の76・1%から86・3%へと上昇した（学年は当時、以下同じ）一と結果を分析しています。

これは学年が上がって良くなった例ですが、逆に心配になる数値も現れることがあります。

2016年2月まとめでは、『先生からよく声をかけられたり、あいさつを受ける』について、

例年、どの学年も7割は「あてはまる」との回答率があります。1年生（80・2%）と3年生（79・4%）は良い方の部類です。ただ、現2年生は1年次の75・5%から64・3%と落ち込み、7割に届きませんでした。こうした調査結果については、学校運営上の課題として、学校側にも共有してもらっています。

「授業内容で分からないことを先生に聞きやすい」が、全体では 64%。1年では 5 割にとどまり、3 学年で最も低率でした。（2013年2月調査まとめ）

「保護者が先生と相談しやすい雰囲気がある」という設問の肯定割合は、1年保護者の肯定割合は47・5%、2年保護者55・2%と、落ち込みが目立った。（2018年2月調査まとめ）

肯定的な内容も、たくさんあり、良いところは、さらに伸ばしていきたいものです。

「先生からよく声をかけられたり、あいさつを受ける」と感じている生徒がどの学年でも8割を超えました。（2019年2月調査まとめ）

今年度も実施を予定していますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

発　行：杉並区立富士見丘中学校　学校運営協議会
連絡先：〒168-0082　杉並区久我山2－20－1　TEL.03－3333－8928